

○Aさん

Q1、自分が目にした議員の思い

今回議員さんと活動をさせていただいて 1 番感じたことは、地域の方々とのつながりを大切にしていってほしいということです。月に二回水曜日に地域の主婦の方々や意見交換をするなど地域の細かい問題などを知り、一般質問の際に述べるなどしていたからです。そこからわたしは様々な人の意見を聞くことの大切さを学びました。客観的に足りないことや必要なことを知り、それを改善するために必要なことを模索していくことの意味や大切さを学ぶことができました。

Q2、自分自身の振り返り

強みの伸ばし(客観的にみて、解決策を見つける)/視野を広げたい/ひとつひとつの活動にしっかりと取り組むという目標をもって活動しました。

目標達成度は、80%で、ひとつひとつの活動にしっかりと取り組めなかったところがあったためです。

また、客観的に見ることはまだ難しいと感じるためです。

.PowerPoint などプレゼン資料の作成がスムーズにできるようになりました。

Q3、あなたにとって議員インターンシップとは

私は原子力発電について賛成派の意見しか今まで詳しく聞いてこなかったため、1 方向の視点からの意見しか持っていませんでしたが、今回反原発派の議員さんの意見や地域の方々の意見など違う方向からの意見を聞くことができたため、視野が広がり、あるひとつのことに対して様々な視点から見る大切さを感じることができました。このことからひとつの意見を信じ、自分で考えることなく受け入れるのではなく、様々な視点から見つめて自分の考えを持っていくことをこれからの生活や仕事に繋げていきたいです。またたくさんの発表資料の作成を通して、聞き手側のことを考えて資料を作る大切さを知りました。ただ言いたいことを詰め込むのではなく、なぜこれを言いたいのか、このことからどんな効果が得られるのかなど理由をつけながら、聞き手側の負担をなるべく抑えることなどたくさんの方に注意できるようになりました。これからはより良い資料作成ができるようになっていきたいです。

Q4、もしインターンシップ先の地域でプロジェクトを行うことになったらどんなことをしたいか

学生に対して議員さんとの交流をもっと深めてもらう。

月に一度市役所に学生を集めて議員さんと様々な意見交換を行うプロジェクト

より良い学校生活を送るために生徒たちから意見を聞いて学校の制度づくりに生かしていく。

○Bさん

Q1、自分が目にした議員の思い

反原発ということで、いかに原発が危険なものであるのか、廃炉すべき理由はなぜなのかを明確に伝えて
いる議員さんであるのだなと思った。原発に近い市であるひたちなかの住人たちの未来、そしてこの先を生き
る子孫たちのことまで思っ活動していたように思う。活動自体はあまり目立つものではなかったが、ひたちな
かに住む住人はもちろん、乾燥芋などを守ろうとしてくれているのだなと強く感じた。原発とはなんなのか、存
在しているものなのか。今回のインターンシップではそういったことを深く考えさせられるいい機会だったよう
に思う。

Q2、自分自身の振り返り

コミュニケーション能力や礼儀作法などを身につけたいと思っていた。
議員さんや市民の方々との交流していく中で、50%ほどはコミュニケーション能力が備わってきたのではないか
なと思う。しかし、積極的に自分から話すということがあまりできなかったように思う。

Q3、あなたにとって議員インターンシップとは

このインターンシップを通して、原発だったりまちのことだったり、普段なかなか深く考えないようなことを学ぶこ
とができた。そして、プレゼンをさせて頂いたことで今まで知らなかった原発のことや、まったく気にしていなかつ
たまちのことが、今までよりも理解できるようになったのではないかと思う。
今回のインターンシップで学んだことを忘れずに、原発とうまく共存していく方法はないのか、未来を生きてい
く自分たちになにができるのか、考えて行動に移していけたらと思う。

Q4、もしインターンシップ先の地域でプロジェクトを行うことになったらどんなことをし
たいか

海浜公園でのロックインジャパンのように、大規模でなくていいので音楽のイベントを開催してみたい。

○Cさん

Q1、自分が目にした議員の思い

原発反対に向けての意見が強く感じられました。

選挙投票率で若年層が低いことと期日前投票率が3分の1を占めていたことに驚いた。

何故こうなったかを考え、対策を行ってみたいと思いました。

みらい塾を聞いたことがなかったのでみらい塾について知りたいと思ったことと港地区は外国人が多いことが知れました。

Q2、自分自身の振り返り

原発についてやインターンシップ先についての事を全く知らなかったです。

プレゼンやレポートが上手く出来なかったこととコミュニケーションが取れなかったと感じました。

Q3、あなたにとって議員インターンシップとは

私は今回のインターンシップの水曜会(2月26日)を通してひたちなか市について知れたことや近代の今後の日本を考へてことで知識が幅広くなったこと、原発について知れました。特に印象に残っているのは教育についてです。ひたちなか市ではみらい塾については聞き今まで聞いた事がなかったのでそれについて聞いて勉強になりました。みらい塾は塾や習い事に行っていないで勉強が好きな子どもが、自らが放課後の2時間を学校で学習する事です。しかし港地区は外国人が多いのでみらい塾をやるなら日本語学校の設置の声が上がりインドネシアやベトナム、タイやフィリピン人が多いことです。

Q4、もしインターンシップ先の地域でプロジェクトを行うことになったらどんなことをしたいか

- ・地域のイベントなどで地元の特産物や観光スポットをプロデュース
- ・プログラミング教育やAI教育についてを子ども達に簡単な説明会をする
- ・学校の授業で政治についてどう思うかを考えさせ、討論会をする

○Dさん

Q1、自分が目にした議員の想い

地域の人々の意見に真摯に向き合っており、地域をより良くしたいという意思を感じた。月に2度も意見交換会をして課題についての意見に耳を傾けていたので、民意を反映させることはこういうことなのかと思った。自分の考えや思いを託すことなんてできないと思っていたが、考えを改めなければならぬと感じた。

Q2、自分自身の振り返り

私のなりたい姿は周りの意見に流されず、自分で考えることのできる人間だ。私はいつも多数決などでも多い方に流されてしまう傾向にあるからだ。身に着けたい力は自分で考える力だ。声の大きい方の意見を鵜呑みにせず、十分に考えて決断したいからだ。

具体的な達成計画は課題などに自分で向き合い、考えることだと考えた。習得率は50%程度だと考える。原発についての本のレポートで、自分なりに課題や対策について考えることはできたが、やはり多数の意見を鵜呑みにしてしまったことがあった。なりたい姿には少し近づけたかと思うが、これからは人の意見を参考にしつつ自分なりに考えるようにしたい。

Q3、あなたにとって議員インターンシップとは

私は今まで、そこにあるものがどうしてあるのか疑問を持たずに生活していた。しかし、インターンシップに参加する中で、疑問を持たなければならないという危機感を感じた。インターン先は地元だったのだが、地元でも知らない問題や課題があり、こんな問題もあったのかと驚くことが多々あった。また、市報は届いていたがいつも手に取ることはなかったが、これを機に目を通すようになったのはよい変化だと感じた。

今後は、様々なことに目を向け、些細な事にも意識して生活していきたい。

Q4、もしインターンシップ先の地域でプロジェクトを行うことになったらどんなことをしたいか

子どもたちとほしいも作りイベントをしてみたいと思った。私はほしいも作りを体験したことはあったが、東海村での臨界事故によって風評被害があったことは知らなかった。そのため、そういったことを踏まえたほしいもの歴史などを学び、ほしいもを作れば興味を持ってくれると思った。

また、ほしいもをふるさと納税の返礼品にすればいいと考える。全国の生産量の9割が茨城であることに加え、ダイエットに効果的であったり栄養価が高く健康にいいという。ダイエットの真偽は不明だが、需要は高いと思うので市の収入につながるのではないかと考える。

○Eさん

Q1、自分が目にした議員の想い

今までは、原発のことをニュースや新聞等で見ても、他人事のように感じていました。自分が原発に関する詳しい知識を持っていなかったことや、東海原発が身近にあったためだと思います。また、福島第一原発の事故があっても、ひたちなか市が汚染されたと言う話は聞いたことがないから大丈夫、と思っていたことも、原発に関心がなかった理由のひとつだと思います。しかし、大久保議員や水曜会の方々と関わるうちに、原発事故が起きたときに、私たちにどのような影響が与えられるのか、避難場所はどうか等の問題を知ることができました。また、本会議等を通して、大久保議員以外の議員の方々も原発に反対していることを知ることができました。大久保議員は、「原発は、人里から離れた場所にあるものである。しかし、東海原発は私達の身近な場所に存在している。もし、東海原発で事故が起こったとき、多くの人々に被害をもたらすだろう」と仰っていました。現在、東海原発が再稼働するのではないかと言う話が挙がっています。私はインターン活動を通して、大久保議員は福島第一原発のような事故が茨城で起きないように、人々に被害が出ないように、原発反対に向け奔走している印象が強かったです。大久保議員のもとで活動を行い、東海原発の問題は他人事はないことに気付くことができました。これからも、市報や会議録を通して、ひたちなか市が東海原発に対し、どのような対策をとろうとしているのかを、知っていこうと思いました。

Q2、自分自身の振り返り

インターンシップ参加前、私は積極性を磨きたいとドットジェイピーの方々に伝えました。積極性を磨こうとした理由は、なかなか人前で自分の意見を話すことが出来なかったことと、自分の興味のあるもの以外のことを調べるという経験があまりなかったためです。私は、積極性を磨くため、なるべく活動に多く参加できるようにし、大久保議員が行っている「原発反対」に関する知識や情報を多く集めるようにしました。そして、自分の考えを持つことが出来たら、インターンに参加しているメンバーや水曜会の方々に伝えていこうと思いました。

結果、積極性を 70%ぐらいは習得できたと思います。原発に関する知識や情報を集めるために、本や会議録等を使って積極的に調べることが出来ました。また、水曜会に参加することで、他の人達がどのような考えを持っているのかが分かりました。しかし、インターンシップ後半の活動は、コロナにより中止になってしまったものや、用事があって行くことが出来なかったものもあり、70%の習得率となりました。

インターンシップ参加前よりは、積極性は身に付いたと思います。自分から、知識や情報を集めに行くことが出来、インターンシップ後も続けようと思ったからです。しかし、自分の考えを誰かに伝えると言うことは、あまり出来ませんでした。自分の考えがまとまるまでの時間がかかったことや、自分の都合により、水曜会で発表することが出来なかったことが関係しています。

Q3、あなたにとって議員インターンシップとは

インターン活動を通して、沢山の初めてを経験したと思います。インターンがなければ、本会議や委員会の傍聴に参加しなかったでしょう。ポスティング活動も出来なかったでしょう。議員さんが、どのような活動を行っているのか知らなかったでしょう。

インターンを通して、大久保議員が行っている「原発反対」に関する活動を知ることができました。今までは、原発に関する知識を得ようとはしていませんでした。しかし、大久保議員の活動を知ること、原発再稼働に関する課題や、ひたちなか市がどのような策を練っているのか等が分かりました。また、水曜会に参加することや、原発に関する本を読むことで、自分以外の方が原発に対しどのような考えを持っているのかを知ることができました。そして、これらの活動を通し、東海原発は再稼働するべきでないという自分の考えを持つことができました。知識を得たことや原発反対に関わる人達と話す機会があったから、このような考えを持つことが出来たのだと思います。

インターン終了後も、市のホームページや会議録、市報等を通して、原発に関する、ひたちなかの動きを知ってほしいと思うようになりました。

Q4、もしインターンシップ先の地域でプロジェクトを行うことになったらどんなことをしたいか

YouTube にアップされた本会議の動画を閲覧している人が少なかったことと、本会議の傍聴をしている人が少なかったことから、もっと議員や市が行っている活動をアピールしたほうが良いと思いました。私達のイメージだと、議員は選挙活動を行っている時のイメージがかなり強いです。

SNS を利用して活動をアピールするだけでなく、議員インターンシップのような活動をもっと広めたほうが良いと思います。また、大学生だけを対象にするだけでなく、高校生や中学生も対象とし、自分達が住んでいる市がどのような活動、政治等を行っているか知るきっかけを作り、関心を持ってもらいたいです。

○Fさん

Q1、自分が目にした議員の想い

大久保議員は東海第二原発の再稼働反対の活動をしています。被爆による健康リスクと不安などが生じており、福島第一原発の経験があるというのに、なぜまた同じ過ちを繰り返そうとしているのか、とおっしゃっており、大久保議員は多くの人の健康、幸せな生活を願って活動をしているのだなと、インターンをしていくうちに感じるようになりました。水曜会に参加した際、大久保議員、原発再稼働に対し反対している地域の方々と原発についての討論を行いました。原発の話になると大久保議員も地域の皆さんも真剣な顔で自分自身の意見を述べており、熱意がとても伝わってきました。私は大久保議員や地域の皆さんが東海第二原発の再稼働反対の活動を毎日一生懸命に行っているのを見て、自分はこんなに何かを頑張ったことはあったらどうかと思いました。自分は何事にも一生懸命になれず、自分つまらない人間だなと思っていました。しかし、今回大久保議員の下でインターンシップ活動をさせてもらったことにより、一生懸命に様々なことを頑張る気持ちを学ばせていただきました。今回学んだことをいかし、様々なことに一生懸命挑戦して、少しでも満足した人生を送りたいと思いました。

Q2、自分自身の振り返り

なりたい姿…しっかり計画が立てられ、積極的に行動できる姿
身に着けたい力…積極的に行動する力、初対面の人でもうまく話すことができる会話力、物事を落ち着いてしっかり考える力、計画をしてそれをしっかりと実行できる力
達成計画…積極的に行動し、なるべく多くのイベントなどに参加する、その場にいる人たちとコミュニケーションをとり、しっかりと会話するようにする。

75% 理由 積極的に行動する力、会話力、考える力はインターンシップの活動や多くの人との関わり、課題などによって、しっかりと習得することができましたが、計画して実行する力はまだしっかりと習得できていないように感じました。計画をしなかったり、計画したとしても実行することができなかつたりなど、おろそかになってる部分が多かったなと感じました。大学生活やこれからの人生、計画を立てることはとても大事になってくると思うので、今回できなかったことをしっかり反省して、少しずつ計画をたて実行できるようにしていきたいです。

50% 理由 しっかり計画をたてる姿は前の部分でも言った通り、うまく習得することができませんでしたが、積極的に行動をする姿にはなれたように感じます。しかし、それはインターンシップ活動をする時であって、プライベートなどではあまり積極的になれなかつたように感じます。インターンシップだけではなく、プライベートでも積極的に行動・挑戦していきたいので、しっかりと反省し、これから積極的に様々なことに挑戦していきたいです。

インターンシップに参加する前の私は、あまり行動的ではなく、時間を無駄にする生活を送っていました。そんな自分から変わりたいと思っていた私は、大学で声をかけられたときに、もしかしたら変わるかもしれないと思い、議員インターンシップに参加することを決めました。いざ参加してみると、インターン活動や課題で忙しく、時間を上手く使わないといけないため、時間を無駄にすることが減りました。また、インターンで様々なことを学び、行動することができたため、積極的に行動することのよさを実感することができました。今でも、うまく行動できなかつたり、時間を無駄にしてしまうことはありますが、このインターンシップで学んだことや経験をこれからは生かして、少しずつよりよい自分になっていこうと思います。

Q3、あなたにとって議員インターンシップとは

今回の議員インターンシップの経験は、自分にとって大きな経験の一つになったと私は思いました。今回の活動で学んだことや経験したことは多くあります。まずは、様々な物事に目を向ける大切さです。今回の声を掛けられ、議員インターンシップの話聞いた時、何をするかまったく想像が付きませんでした。しかし、様々な経験をして多くのことに触れたほうが良いと感じた私は参加することに決めました。参加してみると、ポスティングや議会などの貴重な経験や、原発についてなど、自分が今まで知らなかったことを知ることができると、多くのことを学びました。そこから学ぶことも多く、様々なことに目を向けることで、学べることも多いということに気づくことができました。次に、多くの人と交流する大切さです。最初議員さんの下でインターンシップを行うと聞いた時、うまくできるかすごく不安でしたが、いざインターンシップを行ってみると、議員という職業へのイメージが変わり、とても楽しくインターンを行うことができました。また、インターンシップに参加した他校の大学生の人たちとも交流をすることによって、他の大学ではどんな授業をしているのか、自分の学校とどのような差があるのかなどがわかり、参考になる話がたくさん聞けました。水曜会などでは地域の方々とお話をし、会話をする力がついたのではないかと思います。今回のインターンシップで他にも様々なことを学びました。どの経験も貴重なものでよい経験になったと思います。そしてその経験は大学生活や就職で生かすことができると思うので、学んだことを様々な場面で生かし、よりよい人生にしていけたらなと考えています。

Q4、もしインターンシップ先の地域でプロジェクトを行うことになったらどんなことをしたいか

今回議会傍聴やポスティング、水曜会に寺子屋など、様々な活動をさせて頂きました。その活動の中で思ったのは、もっと多くの人と関わるイベントなどをやりたいと思いました。多くの人と交流することによって、もっと多くの人に活動を理解してもらえるのではないかと考えたからです。地域の人たち・子どもたちと交流する場合は、水曜会や寺子屋などのほかに、ボランティアに参加し交流を深める、また地元のイベントやお祭りに参加すれば、県外などの遠い場所の人たちにも活動を知ってもらえるのではないかと感じました。また、今回私がなんの知識もなく参加したように、議員さんに対していろいろなイメージをもっている学生などが多いのではないかと感じました。なので、もっと議員さんを身近に感じることでできるイベントなどを行えば、議員さんに対するイメージが変わると同時に、その議員さんが行っている政策についても理解することができるのではないかと感じました。